

別紙第4号の11書式〔第21条の6・第47条〕

第  
一  
片

納付書・領収証書		(国庫金)	(番号)	
<p>(注意)延滞金を支払わなければならない場合において、領収しました金額が元本及び支払われるべき延滞金の合計額に不足するときは、領収しました金額を延滞金、元本(元本、延滞金)の順に充当します。</p> <p>右のとおり納付して下さい。なお、納付期限内に完納されなかつたときは、右の延滞金の計算方法により延滞金額を計算して、その額及び合計額を該当欄に記入して納付して下さい。</p> <p>年 月 日 (歳入徴収官、歳入徴収官代理、分任歳入徴収官又は分任歳入徴収官代理官職氏名 印)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: 80%;">(住所)</div> <p>納付期限 (氏名)</p> <p>納付場所 殿</p>	納付目的	下記の合計額を領収しました。 (領収年月日、領収者名及び領収印)又は(領収者名の表示のある領収日付印)		
	延滞金の計算方法			
	(年 度)			
	(会 計)	(主 管 又 は 所 管)		
	(取 扱 庁 名 (番 号))			
	元 本 (科目又は符号)		百 十 万 千 百 十 円	
	延 滞 金 (科目又は符号)			
	合 計 額			
	◎この納付書は、3枚1組の複写式となつていますから、3枚とも納付場			翌年度 月 1日以降現年度歳入組入所に提出して下さい。

第  
二  
片

領 収 控		(国庫金)	(番号)	
<p>納付期限 (住所)</p> <p>(氏名)</p> <p>納付場所 殿</p>	納付目的	下記の合計額を領収しました。 (領収年月日、領収者名及び領収印)又は(領収者名の表示のある領収日付印)		
	延滞金の計算方法			
	(年 度)			
	(会 計)	(主 管 又 は 所 管)		
	(取 扱 庁 名 (番 号))			
	元 本 (科目又は符号)		百 十 万 千 百 十 円	
	延 滞 金 (科目又は符号)			
	合 計 額			
				翌年度 月 1日以降現年度歳入組入

第  
三  
片

領 収 済 通 知 (報告) 書 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">国 庫 金</span>							(番 号)			
あて名  <small>(歳入徴収官、歳入徴収官代理、分任 歳入徴収官又は分任歳入徴収官代理 官職氏名並びに所属庁名及び所在地)</small>	納付目的  延滞金の計算方法	下記の合計額を領収しました。								
		(領収年月日、領収者名及び領収印)又は(領収者名の表示のある領収日付印)								
納付期限	(住 所)	(年 度)					(主 管 又 は 所 管)			
	(氏 名)	(会 計)								
納付場所	(取 扱 庁 名 (番 号))						殿			
	元 本 (科目又は符号)		百	十	万	千		百	十	円
	延 滞 金 (科目又は符号)									
	合 計 額									
							翌年度 月 1 日以降現年度歳入組入			

備考

- 1 別紙第4号書式の備考は、本書式に準用する。この場合において、同書式備考中「納入告知書」とあるのは「納付書」と、「納入の告知」とあるのは「納付の請求」と読み替えるものとする。
- 2 第21条の2の規定により作成する納付書にあつては、納付目的の欄に主たる債務者の住所及び氏名又は名称並びに納付の請求の理由を付記するものとする。